

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355
 事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355
 例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分
 会長 神崎達朗 幹事 小清水正義 会報委員長 安部信三



Reach Within to Embrace Humanity
 心の中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年～2012年度国際ロータリー会長
 カルヤン・パネルジー

第1258回例会 2011年11月10日(木)(曇)

- 司会** 瀬戸 誠副幹事
点鐘 神崎達朗会長
合唱 「君が代」「奉仕の理想」(北村まり子さん)
唱和 「ロータリーの綱領」(大屋富茂君)
ビジター紹介 草山弘道地区財団増進委員長(秦野中) 久保谷 勤君(秦野)
祝結婚記念日 相原君(10/1) 河野君(11/3) 古谷さん(11/6)
祝誕生記念日 <会員>古谷さん(11/12) 高橋(修)君(11/13) <奥様>高橋(幸)君(11/9) 西村君(11/13)
祝創業記念日 古谷さん 桐山君 菊池君 中島君(11/1) 山本君(11/11)

会長報告

- 11月3日(市民の日)には、麻薬撲滅キャンペーン及び親子ふれあいトスボール大会へのご参加、ご苦勞様でした。
- ガバナー事務所より
 - ① 社会奉仕活動等についてのアンケート(協力依頼)
 - ② 地区大会選挙人會賛否投票結果の報告
 - ③ “新会員の集い” 会員相互の親睦と意見交換の會登録のお願い
 対象 2011年1月1日以降に入会した新会員
 過去3回の「新会員の集い」の対象者で、まだ参加された事のない方
 開催日 2/10(金)～11(祝)
 場所 ニューウェルシティ湯河原
 会費 10,000円

新会員アンケート・クラブアンケート

- ④ 「家族月間」(12月)卓話について
 - 秦野市少年野球連盟より H23年卒業記念大会及び親子ふれあいトスボール大会に対してのお礼状
 - 今年度の年次総会が12月8日に開催されます。それに伴い11月24日(木)に指名委員会を開催致します。
- ◎ 桐山晃忠君・ご子息 結婚祝い金贈呈

幹事報告

- [週報受理] 茅ヶ崎 大磯 寒川
 [受付文書]
 ○ みのりの家より、第59号みのりの家ニュース(回覧)
 ○ 秦野市図書館より ブックスタート事業に伴う協賛について(お願い)
 ○ 国際ロータリー日本事務局より 認証品の送付(ベネファクター 高橋修平さん)
 [例会変更] 寒川
 [本日の配布物] 「ガバナー月信」

スマイル報告

- 草山弘道君(秦野中) 「11月の財団月間に因んでお伺いいたしました。宜しくお願い致します」
- 久保谷 勤君(秦野) 「本日はメーキャップさせていただきます。宜しくお願いいたします」
- 神崎達朗君 「草山地区財団増進委員長、本日の卓話、宜しくお願いします」
- 小清水正義君 「草山さん、本日は宜しくお願いします」

会員数	40名
出席数	33名
出席率	84.62%
前々回の修正	82.05%

ミーティング	事後] 高橋(修)君 前
	君 諸星(道)君(秦野中)

本日のプログラム	11月17日(木)
	○ 卓話 ちっちゃな星の會

次週のプログラム	11月24日(木)
	○ 卓話 前君

- 桐山晃忠君 「立冬を過ぎ、だいぶ寒くなってきました。風邪に充分気をつけましょう。草山弘道地区ロータリー財団増進委員長、卓話、宜しくお願い致します。創業記念品、ありがとうございました」
- 諸星常平君 「先週のトスポール大会、楽しかったですよ。ちっちゃな子供相手にホームランを打ちました」
- 瀬戸 誠君 「スマイルします」
- 古谷スミ子さん 「本日はたくさんのお祝いを頂きます。＜創業、結婚、誕生＞のトリプルです。人生最良の日かもしれません」
- 河野治男君 「結婚記念のお祝い、ありがとうございました。早いもので49年になりました」
- 高橋修平君 「還暦祝い、ありがとうございます。これからは全てを受け入れられる生き方をしたいと思えます」
- 高橋幸雄君 「急に寒くなり、咳が出たり、と冬の訪れを感じています。家内の誕生祝いをありがとうございます」
- 西村隆之君 「家内の誕生祝い、ありがとうございます。毎週会議などで忙しくしておりました。今日はイベントを夕方にして出席しました」
- 山本裕宣君 「創業記念の祝い、ありがとうございます」
- 中島賢治君 「創業記念のお祝い、ありがとうございます。スマイルします」
- 菊池文男君 「草山さん、本日はご苦労様です。宜しくお願い致します」
- 今井茂文君 「草山直前ガバナー補佐、ご苦労様です。卓話、楽しみにしています。11月3日のトスポール大会はお疲れさまでした」
- 諸星道治君 「昨日、ロータリー財団セミナーで藤沢産業センターに行ってきました。始めはちんぷんかんぷんでしたが、最後の方で少しわかったような気分です」
- 山口光弘君 「カリブ海クルーズに楽しい旅ができました。ありがとうございます」
- 梅原正美様 「先日、会長の名代でフィリピン・アンヘレスの図書館増築工事の支援金を渡してきました。図書館を利用している子供たちの、生きよう、学ぼうとする力強さに圧倒させられました。来月は竣工式が行われる予定ですので、皆さん宜しくお願い致します」
- 北村まり子さん 「天橋立でリフトに乗りました。とても良い眺めでした」
- 前 肇君 「スマイルします」
- 淵脇美代子さん 「花咲ガニにスマイル！！」

合計 86,000 円

委員会報告

- 社会奉仕委員会 加藤一也委員長
「芝桜草取り」について
日時 11/12(土) 13:30~
※ 今年最後の草取りです。1人でも多くの方のご参加をお願い致します。
- 国際奉仕委員会 梅原正美委員長

フィリピン・アンヘレス図書館増築工事への支援金を寄贈して参りました。

10月28日 寄贈式に出席

12月17日 竣工式(入口にプレートで秦野名水RCの名称が記されます)

※ 竣工式への参加者を募ります。御参加を！

卓話

「R財団月間に因んで」

- 菊池文男R財団委員長



11月はR財団月間です。R財団を皆様に理解して頂くために、地区より草山弘道地区財団増進委員長において頂き、お話しして頂きます。

今年度は、年次寄付、1人180ドル以上

ポリオ 1人2,000円

東日本震災復興支援金 1人100ドル

以上、合わせて30,000円を集めさせていただきます。11月より集めます。

- 草山弘道地区財団増進委員長のお話



昨年はガバナー補佐として大変お世話になりました。11月は財団月間と言う事で話をさせていただきます。地区財団委員会の中には小委員会として、

- ① 財団増進委員会
- ② 財団奨学金学友委員会

- ③ GSE委員会
- ④ 世界平和フェロー委員会
があります。

私は、地区の財団増進委員長をさせていただいていますので、今日は財団月間に因みまして、ガバナーの地区目標達成へのご協力をお願いに参りました。よろしくお願い致します。釈迦に説法になりますが、お願いの前に歴史に触れてみたいと思います。

ロータリーの歴史

1900年の初期におけるシカゴはまだ開拓時代でありました。1905年2月23日(木曜日)この日の夜は事のほか寒く小雪交じりの風が吹き荒れていました。ポールはマダム・ガリの店で友人の石炭商のシルベスター・シールと夕食をとりながら、ときおり話をしていたクラブ結成の話を具体的に説明しました。「私は商売人や実業家でも会員になれば知己と友情によってビジネスを伸ばせるような今までに無い新しい社交クラブを作ろうと考えています」「同じ職業を持つ人は一人しか入会できないと決めれば、クラブ内には商売上の競争相手がいません。どうでしょうか」鉱山技師ガスターバス・ローア、洋服仕立て屋ハイラム・ショーレイが待つローアの事務所ポールがやってきました。ポールは「商売人も心からの友人になれる」「仕事の違う者が定期的に集ろう」と提案しました。この4人は熱っぽく新しいクラブについて語り合いました。2週間後(3月9日)ポール・ハリスの事務所に印刷屋ハリー・ラグルス、不動産業のウィリアム・ジェンセン、楽器製造のホワイトら3人を加えた7名が集り、会合はお互いの事務所で開催されました。第3回目は(3月23日)石炭商のシールの事務所で開き新しい会員も加わり9名が集り徐々に組織は拡大してゆきました。ハリー・ラグルスがロータリーソングを歌い始めた最初の人です。9月号のロータリーの友にエピソードが掲載されています。1905年、日本では明治38年で日露戦争の真っ最中でした。この年の5月27日は日本海海戦でバルチック艦隊を撃滅した日です。

日本のロータリー

1920年(大正9年)10月20日東京銀行クラブに24名が集り、日本初のRC創立総会が開催され米山梅吉が初代会長に、福島喜三次が初代幹事に選任され、東京RCが誕生いたしました。1921年(大正10年)福島喜三次は大阪に転勤、1922年(大正11年)11月17日創立総会が開催され大阪RC創立に尽力し、幹事になった。

1923年(大正12年)9月1日、午前11時58分44秒に震度7.9の大地震が関東を襲いました。震源地は相模湾海溝です。その日の午後4時までの余震126回を含め9月25日までの有感地震1293回に達しています。178箇所から出火、焼死者5万2千人余、溺死者5千3百余人、圧死者1千5百余人、救護中の死者千余人、合計6万98人が死亡、負傷者4万2135人、行方不明者3万9304人、罹災者340万人、全

焼家屋45万戸、倒壊家屋45万戸の大惨事で、損害は当時のお金で45億円でした。横浜が大震災で壊滅したというニュースが全世界を駆け巡り国際ロータリーのガンディカー会長から見舞電報、2万5千ドルが大阪RCを経て送られてきました。シカゴをはじめ米英加中など17カ国、503ものRCからの義捐金、援助物資は当時の金額で89000ドルに達しています。義捐金は東京188校、横浜70校の焼失小学校の物品寄贈、孤児院の再建、殉職した警官の遺族への援助、会員の産科病院の再建に使われました。ロータリーとして日本最初の社会奉仕でした。

1961年(昭和36年)5月28日、74カ国から2万3366名が登録し、第52回国際ロータリー国際年次大会が東京で開催されました。昭和天皇と皇后陛下がご臨席天皇陛下がお言葉を述べられました。「本日の第52回国際ロータリー年次大会に臨み、各国から参集された会員各位に対し歓迎の意を表する機会を得ました事を、私は深く喜びとするところであります。ロータリーの会員が創立以来、奉仕と友愛とを目標として人種、宗教、国境をこえて友好を重ね、国際理解を深める上に多大の寄与をしてきた事は喜びに耐えません。今回この大会がはじめてアジアで開かれ、かつ参会者が当初の予想をはるかに超えた事は、日本に対する関心と友情のあらわれとしてまことに意義深いものがあります。わたしはこの大会がロータリーの輝かしい歴史と高い理想のもとによくその成果をおさめ、会員相互の友情と親愛がますます深まると共に国際間の協力と推進を国民のひとしく要望する世界の永久の平和の確立に貢献することを希望します」と

ロータリー財団の歴史

ロータリー財団は、1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会において、アーチC・クランプが「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でより良きことをするために基金を作ろう」と提案した事に始まり、1928年国際大会でロータリー財団と名づけられ、1931年に信託組織となり、1983年米国イリノイ州法の法令の下に非営利財団法人となりました。

ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみであり、ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。国際ロータリーと法的に組織は違っても、その目的、使命、活動は両者共に一体のものであります。

2007年の規定審議会でも、ロータリー財団の使命を「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できりようにすること。」とされそして、標語「世界でよいことをしよう」とされました。世界中の貧困や飢餓が減少し、社会が向上し、世界が平和にならない限り、私たちの真の平和はありません。私たちのロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕をさらに強化し、増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面の援助が大変重要になります。

それでは次に、2780地区の財団の活動と資金面について触れてみます。例年、ガバナーは、地区目標の中に財団への寄付を要請されます。

年次寄付 一人当たり180ドル
恒久基金へクラブでベネファクター一人以上

この寄付がどのようなプログラムに地区では使用しているかと申しますと、後藤年度を例に見てみますと、後藤年度の地区財団活動資金(DDF)は2007~2008年度(小佐野年度)の寄付金を使用いたします。小佐野年度は年次寄付に400835.27ドル、恒久基金に166868.94ドル、皆様からの寄付がありました。年次寄付の50%200417.64ドル、恒久基金の利息の50%が20307.45ドルと前年度からの繰越112991.19ドル、財団奨学生辞退による25000ドル、合計366752.79ドルが後藤年度の地区活動資金(DDF)となりました。

その用途は、ロータリーセンターに25000ドル、地区補助金40084ドル、国際親善奨学金に75000ドル、ポリオプラスに20000ドル、その他となっています。

ロータリーセンターの正式名称は「紛争の解決と平和における国際問題研究のためのロータリーセンター」といいます。そこで学ぶ学生を「平和フェロー」といいます。その平和フェローに奨学金を支給いたします。地区補助金は各クラブの奉仕プロジェクトに補助金申請があったクラブへの補助金です。秦野名水クラブは市民の憩いの場である水無川の土手に芝桜を植え、市民の目と心に潤いを与えるというプロジェクトで1500ドルの補助金が交付されています。

2013~2014年度(相澤ガバナー年度)から未来の夢計画が実施されますので、今年度の財団への寄付金も未来の夢企画に添った用途に変わります。

地区財団活動資金(DDF)がグローバル補助金と新地区補助金になります。

DDFの内 50%以上をグローバル補助金に
50%以下を新地区補助金に使用する事になります。

又、グローバル補助金を使用するプロジェクトには、6つのロータリーの重点分野に該当しなければなりません。

- ・ 平和と紛争予防/紛争解決
- ・ 疾病予防と治療
- ・ 水と衛生設備
- ・ 母子の健康
- ・ 基本的教育と識字率向上
- ・ 経済と地域社会の発展

未来の夢計画における地区の考え

2013~2014年度から全世界ではじまる「未来の夢計画」で2780地区ではDDFの配分方法の予定を次のように考えられています。

2010~2011年度の年次寄付、恒久基金の利息の

合計額の3年後の推定額を40万ドルとしたとき、WFに20万ドル、DDFに20万ドルに配分いたします。DDFの20万ドルは、グローバル補助金に10万ドル、新地区補助金に10万ドルに配分されます。グローバル補助金の10万ドルはWFからの10万ドルと合わせて、6つの重点分野を含むプロジェクトに使用されます。新地区補助金の10万ドルは、奨学金プログラム、地区直轄プロジェクト、クラブの奉仕PJ、クラブ合同奉仕PJ等に使用されます。今後、グローバル補助金、新地区補助金の配分使途については、具体例を示しながら、各クラブがこのプログラムに参加できるよう詳細な説明がなされる事と思います。

さて、今年度、森ガバナーも地区方針の中でロータリー財団への寄付目標として

年次寄付 一人当たり180ドル
恒久基金 一クラブ1000ドル以上
(ベネファクター一人以上)

ポリオプラスに一人2000円

東日本震災復興基金に 一人当たり100ドル
を私達に示されました。

この内、年次寄付の全額と恒久基金の利息の全額が3年後の2014~2015年度の財団活動資金になります。これを、国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)が50%づつシェア一致します。

6つの重点事項の中の「母子の健康」の中に“栄養失調”医療の不備、不適切な衛生、などで毎年6歳未満の子供たちが900万人もなくなっています。私たちは明日を考えることが出来ますが、明日がない人がたくさんいます。この人たちのためにもR財団への寄付を宜しくお願い致します。



11.12 草むしり熱心隊 撮影：岩本英貴社会奉仕副委員長